

2012年6月28日

いすゞ、中国事業の取組みについて

－新合弁会社の設立－

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：細井行、以下「いすゞ」)は、中期経営計画に基づき、世界最大の商用車市場である中国での CV 事業の強化と、大型商用車のグローバル競争力強化を目的に、この度、パートナーである慶鈴汽車グループ(以下「慶鈴」)との間で、重慶に新しい車両開発合弁会社及び車両コンポーネントの製造・購買・輸出合弁会社を設立することといたしました。

近年、中国の商用車市場は急速に拡大し、大型商用車の需要は 2010 年には 100 万台を越える世界最大の商用車市場となりました。いすゞは、慶鈴において 2001 年 4 月に重型トラック(日本の中・大型トラック相当)の生産を開始し、多くのお客様に、耐久信頼性をはじめとしたいすゞ重型トラックの価値を、高くご評価頂いております。

今回、中国の極めて大きな需要と、いすゞブランドの強みを活かし、中国における大型商用車事業を強化致します。車両開発合弁会社では、パートナーである慶鈴と次世代大型車の共同開発を中国国内で進めることにより、慶鈴及び中国の部品サプライヤーと協業しながら、市場ニーズに適合し、高いコストパフォーマンスを備えた次世代大型車をよりスピーディーに開発してまいります。また、製造・購買・輸出合弁会社では、大型エンジンの主要部品を国産化することで、低コスト化を図り、慶鈴へ供給するとともに、日本が必要とする車両コンポーネント及びエンジン部品の現地調達及びいすゞへの供給を通じて、大型商用車のグローバル競争力強化を目指します。

以上

【開発合弁会社概要】

会社名	いすゞ慶鈴(重慶)技術開発有限公司(仮) ISUZU QINGLING (CHONGQING) ENGINEERING CO., LTD.
所在地	重慶市九龍坡区中梁山協興村 1 号(慶鈴汽車敷地内)
代表者	小田嶋 勝
事業内容	新規大型車及びその関連部品を含む新製品の商品企画・開発
資本金	400 万 US ドル(約 3 億 2 千万円)
株主	いすゞ自動車株式会社 75% 慶鈴汽車股份有限公司 25%
設立年月	2012 年 8 月(予定)

【製造・購買・輸出合弁会社概要】

会社名	いすゞ慶鈴(重慶)部品有限公司(仮) ISUZU QINGLING (CHONGQING) AUTOPARTS CO., LTD.
所在地	重慶市九龍坡区中梁山協興村 1 号(慶鈴汽車敷地内)
代表者	未定
事業内容	エンジン部品の製造・車両及びエンジン部品の販売
資本金	2 億 4 千万 US ドル(約 192 億円) ^{※1}
株主	いすゞ自動車株式会社 51% 慶鈴汽車(集団)有限公司 49%
設立年月	2012 年 8 月(予定)

※1 両株主間で、設立時に 1 億 8 千万ドル、2 年後を目処にさらに 6 千万ドルの増資を
 応分の負担で実施することにつき合意しております。